



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	テキストマイニングによる授業分析と授業の改善に関する検討："電気とものづくり"を対象として(abstract(japanese))
Author(s)	藤井,和人
Citation	学校教育学研究論集(37): 29-44
Issue Date	2018-03-26
URL	http://hdl.handle.net/2309/149310
Publisher	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科
Rights	

テキストマイニングによる授業分析と授業の改善に関する検討

—— “電気とものづくり” を対象として ——

藤 井 和 人*

ものづくり技術選修の2年生は“電気とものづくり”を受講する。この授業の目標は、授業の活動を通して、創意工夫、意見の集約、協働する力、意見の発信の4つの要素について自ら理解を深めることである。このような授業の評価を行うために、文書形式のアンケートによる分析が考えられる。近年、文書形式のアンケートの客観的な分析を行うためにテキストマイニングテクノロジーが使われている。

この報告の目的は、テキストマイニングテクノロジーにより、この授業に関する分析結果と授業の実態と比較することで、この授業に対する有効性を評価することである。授業目標の達成度評価にはKH Coderによるクロス集計と対応分析を用いた。分析結果では、おおむね学生の実態を反映しており信頼できるものであった。この

ことはテキストマイニングがこの講義の分析に有効であることを示している。コーディングルールを用いた分析結果から、学生が各項目に対してどのように考えているのかといった彼らの思考の方向性が際立つことが示された。また、意見の集約に関する理解の深まりが乏しく、この要素に関して改善が必要であることが示唆された。

Key words

テキストマイニング, 授業評価, KHコーダー, 対応分析, コーディングルール

*東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科, 生活・技術系教育講座